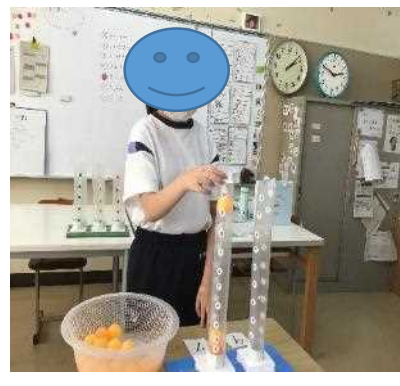
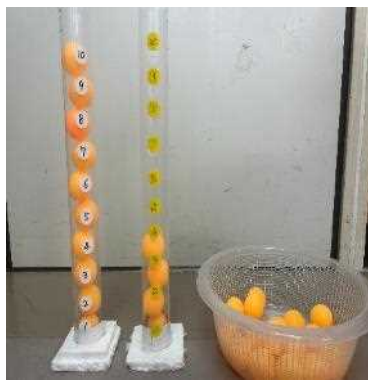
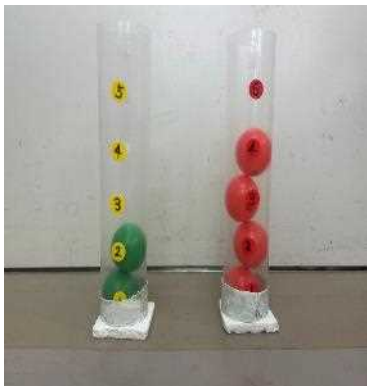


教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
数の合成と分解	高	合科 Ⅱグループ (数学)	

<ねらい> 一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 同じ大きさのボールを準備し、同じ高さの筒を横に並べることで、視覚的に比較がしやすいようにした。
- 理解度に応じて、5まで10まで20までと段階的に筒の高さを高くして、学習が進められるようにした。
- 筒の前面と背面に数字のシールを貼って、課題をしている生徒と見ている生徒の両方が学習できるようにした。
- ボールを動かしながら声に出して数えることで、2つの数が1つにまとまったり、1つの数が2つに分かれたりするのを感じやすくした。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ボールを筒に入れる動作を楽しそうにして、活動全体に意欲的に取り組むことができた。
- みんなの前で課題に取り組ませることで、ボールが入っている様子が全員に分かりやすく、グループ全体で学習することができた。
- はじめにボールを教師と一緒に声に出して数えることで、個数を意識して数の合成や分解を考えることができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>